



美しい山

蔵王山

《風の通り道(6×6判 2月 地藏山)》

青木克純 よしすみ 写真展

大型カメラとフィルムによる作品集

ギャラリートーク

12月14日[日]

14:00~

2025 12月9日[火] → 2026 1月12日[月・祝]

9:00-19:00

※1月は17:00まで

主催・会場・問い合わせ 白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M 〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331
TEL.0238-85-9071

休館日 12月15日(月)・12月22日(月)・12月29日(月)~2026年1月3日(土)・1月5日(月)

観覧料 一般個人500円 | 大学生・高校生200円 | 中学生以下無料

※あゆむ2025年度年間パスポート提示で200円引き ※大学生以下のかたは学生証・生徒手帳をご提示ください

蔵王山をテーマに撮り始めたのは 2002 年頃、樹氷を撮ったのが最初でした。観光気分で降り立った山頂駅は猛吹雪。一步も外に出ることなく山を降りたのが最初です。その後 4 日通って奇跡的に晴れ渡った空と樹氷を撮った時の感動は今も忘れられません。それから 5 年通いつめ、この山を熟知するようになり 2007 年日本カメラ社から作品集「蔵王山」を出版。同時に写真展を開催いたしました。

蔵王はお釜と樹氷が有名で山としての側面が軽視されがちです。今回の写真展では四季の移り変わりを縦軸に北、中央、南蔵王をそれぞれ宮城、山形県を横軸に表現します。

また当時の写真界はフィルムからデジタルへの移行期でした。今では使われなくなったポジフィルムに依るクリスタルプリントとアルミパネルの大型作品はフィルム時代の完成形です。35mm. 6×6. 4×5. 8×10 インチ判カメラを駆使して作り上げた作品は、今では感じられない重量感を持って心に響いてきます。同時にデジタル作品も額装で展示しますので、違いを感じていただくのも一興かと思います。

私が蔵王山にかかわって感じた事は神や仏のいる山だということ。長い時間の中でこの山とともに生きた人々の生き死にや生活、自然に対する感謝や恐れ、祈りを感じていただければ幸いです。

青木克純

美しい山 蔵王山

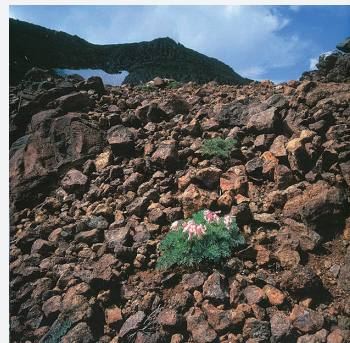
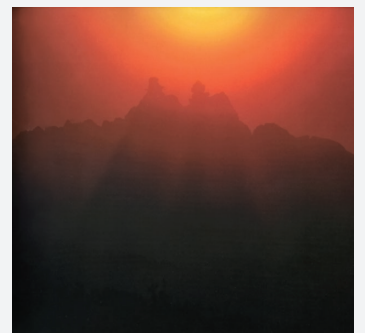
青木克純
よしみ
写真展



《白いグラディエーション(6×6判 2月 龍山山頂直下)》



上《雪どけの噴火口(6×6判 5月 振子沢上空)》 上《火色降る頂(6×6判 9月 熊野岳東斜面)》
下《ガレ場に生きる花(6×6判 8月 熊野岳東斜面)》下《山上花園(6×6判 8月 熊野岳東斜面)》



青木克純 略歴

- 1957 年 千葉県流山市生まれ
35mm カメラを購入
- 1981 年 関東学園大学経済学部卒業後
中判、大型カメラによる撮影開始
商社勤務を経て青木写真事務所を開設
フリーランスのカメラマンとして風景写真を撮り始める
- 2007 年 富士フォトサロン仙台、山形、高崎等で写真展開催
日本カメラ社より作品集「蔵王山」出版
- 2015 年 日仏現代国際美術展 東京都美術館 会員優賞受賞
R293 美術展 佐野市文化会館 出展
出版社、企業への写真提供、写真教室、講演、撮影ツアー等を開催
現在は縄文古墳や神社仏閣をめぐり日本の神様を取材中



アクセス



白鷹町文化交流センター AYU:M

- [車] 山形市より国道 348 号線で約 35 分
- [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行
「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約 50 分) 徒歩約 4 分
- [お問合せ] 0238-85-9071